

控訴審 第一回弁論

9月15日(木) 14:00～

大阪地裁202号法廷

傍聴抽選締切 13:30

大阪地裁正面玄関

靖国参拝は戦争準備行為です！

ー 1 審判決を打ち砕こうー

1/28「安倍首相靖国神社参拝違憲訴訟」一審判決。再び戦争ができる国へと舵をきる現政権におもねる司法の無残な判断。戦争のない平和と真の民主主義を築くため、私たちは声をあげ続けます。「首相の靖国参拝は戦争準備行為だ！」と。

いよいよ控訴審が始まります、私たちはすでに78ページにおよぶ控訴理由書を大阪高裁に提出しました。「良心の声届け」と。

何としてもあの一審判決を打ち砕かねばなりません。一審に引き続き、多くの皆さんの裁判傍聴、集会参加を呼びかけます。

9/15・講演 & 弁論報告集会

ー軍事化する日独とヤスクニー

講師 木戸衛一さん

日本で市民運動に携わる多くの人にとって、ドイツは、「過去の克服」や戦後デモクラシーの模範的存在となってきました。そのドイツは、安倍政権による集団的自衛権行使容認の閣議決定や、憲法違反の戦争法を歓迎しています。

「テロとの闘い」を口実に、日独の政治社会は明らかに軍事化しているのです。ヤスクニ問題も、そのような世界的流れの中で捉え直す必要があるのではないのでしょうか。今回は木戸さんをお迎えし、この問題についてともに学んでいきたいと思います。

日時：9月15日(木) 18:30～

会場：エルおおさか708号(地下鉄/京阪天満橋下車)

資料代：500円

木戸衛一さん 略歴

1957年千葉県柏市生まれ。現在、大阪大学大学院国際公共政策研究科教員 専攻はドイツ現代政治・平和研究。1981年東京外国語大学ドイツ語学科卒業。1988年一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。ベルリン自由大学で学位取得。2000年～ 01年ライプツィヒ大学客員教授。

主な著作に『平和研究入門』(2014年編著)、『変容するドイツ政治社会と左翼党』(2015年耕文社、)。

★ 東京安倍靖国参拝違憲訴訟では、日独の比較および「安倍政権の靖国参拝は戦争準備の一環である」との意見書を作成提出。

